



仲興寺にある百庚申塚ひやくこうしんづか（所在地：大字川内柳原地内）

町内の神社仏閣の参道の一隅にたくさんの石塔や石仏が見ることができます。その中でも庚申塔こうしんとうを多く目にします。庚申講こうしんこうの習慣は江戸時代から盛んになりました。十干十二支じっかんじゅうにしの組み合わせによる庚申の日（60日に1回）の夜、人間の体内にいる三尸虫さんしちゅうという虫が、寝ている間に天に上り、神様にその人の悪事を報告します。それを避ける為に、その晩は寝ないで庚申様を祀り、集落の懇親会や宴会をする風習となりました。そして、庚申講を3年に18回続けた記念に庚申塔を建てたとされています。また、庚申様を信仰すれば蚕かえのさるがあたるということで養蚕の神として信仰されていました。

明治政府により迷信とされ廃れましたが、現代のような娯楽のない中、庚申信仰というかたちで、厳しい農作業の間にささやかな楽しみを求めていることがうかがい知れます。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】



明日へ。復興・きずないイルミネーションが今年も始まり、11月23日、観月台文化センターでイルミネーション点灯式が行われました。

点灯式では佐藤正春実行委員長、太田久雄町長、東海林一樹町議会議長、キャンドルの下絵をデザインした県北中学校美術部のみなさん、スペシャルライブを披露した福島出身のShimavaさんが点灯スイッチを押すと、観月台文化センターに施された電飾に明かりがともされました。

併せて、同会場でキャンドルパーティーも行われ、約4千個のキャンドルで描かれた「くにみもたん」が浮かび上がりました。

イルミネーションは1月5日まで、町公施設など町内各地で点灯しています。また、12月23日にはあつかし山ビッグツリー点灯式に併せて、上野台運動公園でキャンドルパーティーも行われます。温かい光に包まれた美しい冬の風物詩をお楽しみください。

夢をつなぐ

明日へ。復興・きずない

イルミネーション



目次

～今月の表紙～

2	太田町長就任のごあいさつ
4	目次
5	明日へ。復興・きずないイルミネーション
6	平成28年度国見町表彰式
8	国見町内一周駅伝競走大会
10	「くにみ産業祭」「石工フェス」
11	「秋の女性応援団ツアー」「ヤングカレッジ」
12	「国見ジュニア応援団」「交通安全町民大会」
13	「くにみ幼稚園生活発表会」「国見小学校夢先生」
14	国見町文化財センター愛称決定
15	民生委員・児童委員に委嘱状
16	復興のあしおと
17	まちのサークル（国見茶道クラブ）
18	小さな天才たち（県北中学校）
20	まちのわだい
22	保健だより
26	くらしの情報
28	生涯学習つうしん
	カレンダー



明日へ。復興・きずないイルミネーションが今年もはじまりました。点灯式では、観月台文化センターにキャンドルで描かれたくにみもたんが登場しました。